

豊かなコミュニケーション力を身に付けたグローバル人材の育成



各小中学校においては、全ての教科や道徳をはじめとする領域を通して、自国及び他国の文化理解を進めるとともに、豊かなコミュニケーション力を身に付け、主体的に判断し行動できるグローバル人材の育成に努めています。とりわけ英語教育においては、平成27年度から文部科学省の「外国語教育強化地域拠点事業」を活用して、殿田中学校ブロック3小中学校（殿田小・胡麻郷小・殿田中）を拠点校として研究実践を進めています。

この拠点校による先進的な研究実践の成果を、市教委主催の授業研究会や研修会等の機会を通して、市内全小中学校に広めており、市内全ての小中学校において人権教育を基盤として誰とでも交流を深め合い、つながり合えるグローバル人材の育成に努めています。

こうした本市における豊かなコミュニケーション力を身に付けたグローバル人材の育成に係る取組の一端を、10月31日（火）に開催する英語教育研究発表会において全国に発信することとしています。午前中は、市立小中学校の代表として拠点校である殿田中学校ブロック3小中学校と府立園部高等学校の4会場に、京都府内はもとより全国各地からの参加者に、授業公開及び実践協議を行います。そして、午後には、会場を日吉町生涯学習センターに移して全体会を開催し、南丹市の人権教育を基盤としたグローバル人材の育成をめざす英語教育研究の成果と課題を発表し、関西大学 外国語学部学部長 竹内 理教授から指導講評を、また、文部科学省初等中等教育局 教育課程課・国際教育課 直山 木綿子教科調査官には、「新学習指導要領における外国語教育について」と題する基調講演をお願いし、参加者全員で学び合う予定です。そこで得た本市研究実践の成果や課題に対するご意見をもとに、さらに南丹市の小中学校における英語教育の充実を図っていくことにしています。



学んだことや体験したことを、英語で伝えます。



担任がALTと連携し、楽しい授業を行っています。



ALTの先生と学びを深め、英語を使う自信を高めます。

グローバル人材育成事業(6,548千円)

本市においてはこれまでから英語教育の充実を図り、子どもたちの英語を通じたコミュニケーションをより豊かにするために、外国語指導助手（ALT）の全小中学校への配置、小中連携による中学校英語教員の小学校への派遣、中学生を対象とした英検受験補助等行っています。特に今後より一層重要となる小学校教員の英語力及び英語指導力向上については、小学校全教員を対象とする研修会を積極的に実施することで、担任が中心となって外国語活動や英語科の授業を進める教育実践が全ての学校で充実するように取り組んでいます。

生涯にわたって続く「学び」の教育環境づくり

平成29年度教育関係予算概要 1,700,080千円（当初予算額）

本年度も、市教育振興プラン（南丹市教育大綱）に位置づけています。「生涯にわたって主体的で心豊かに学び続け、共に生きようとする」子どもから高齢者までの皆さんの学びを豊かにするため、生涯にわたって続く「学び」の環境づくりを、学校教育、社会教育の両面においてより一層進めていくこととしています。

一人一人に豊かな学びと育ちをうながす学校教育の充実と推進

○保幼小中連携事業（212千円）
幼児、児童生徒一人一人の豊かな学びと育ちにつながる中学校ブロック毎の校種間連携の取組や指導力向上を図る教員研修を支援します。

○特別支援教育推進事業（25,944千円）
特別な教育的ニーズを有する障がいのある子どもたちに、きめ細やかな支援を行う特別支援教育支援員の配置を進めるとともに、豊かに育ち合うことができる共生社会の実現をめざします。

○情報教育整備事業（57,109千円）
情報教育機器を活用することで、児童生徒の学習意欲を高めたり、効果的な授業により学力向上につなげたりするために、タブレット型コンピュータの導入を図るとともに、それらタブレット端末が普通教室で利用できるよう、引き続き校内LAN整備を推進します。

地域社会総がかりで子どもを育む取組の推進

○家庭教育支援事業（188千円）
家庭教育学級等を通じた親育ち、親学びの場として、子育ての不安や孤立化の解消に向けて互いに学び合い支え合う学習の機会の提供を図ります。

○コミュニティ・スクール導入等促進事業（910千円）
本年度から学校運営協議会を設置した園部、八木地域の4小学校を除く、日吉、美山の3小学校において、次年度、学校運営協議会を設置するための研究等を引き続き推進します。

○地域学校協働本部事業（1,588千円）
地域全体で子どもたちの豊かな学びや成長を促すことを願って、地域社会と学校がつながり合い、市内4中学校を各本部とし、各小学校を支部に位置付けて、相互に連携・協働する取組を本年度も推進していきます。

学習機会の提供と生涯にわたる学びの推進

○生涯学習充実事業（1,603千円）
生き生きと学ぶことができる社会の実現をめざし、「さくら楽習館」の取組をはじめとして、生涯にわたって、ライフステージに対応した学習機会の提供により、社会教育活動の充実を図ります。

○体育振興事業（5,945千円）
生涯スポーツや地域スポーツを推進するために、スポーツ環境の充実や、団体育成を図ります。

○人権教育事業（616千円）
「部落差別の解消の推進に関する法律」等を踏まえ、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向け、指導者養成を含めた市民のための人権学習機会の充実を図るため、本年度も3回にわたって人権学習講座を開催します。

【人権教育講座第1講】
部落差別を含む人権をテーマとする講演会
※5月27日（土） 実施終了

【人権教育講座第2講】
病気による差別をテーマとした映画会
※8月4日（金）①14:00～ ②18:30～
日吉町生涯学習センター

【人権教育講座第3講】
部落差別をテーマとする講演会（予定）
※11月17日（金）

その他事業（6月補正等）

○学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究（1,148千円）
専門家等で構成する協議会を設置し、不登校児童生徒にかかわる効果的な支援策について調査研究をはじめとした検討を進めます。その中で、南丹市等における不登校の子どもたちのための適応指導教室の在り方について協議を深め、試行的な取組も検討していきます。

○学校業務改善加速事業（3,300千円）
国の「学校現場における業務改善加速事業」を活用し、学校教育の質をより一層高めることにつながる、学校業務の改善や職場環境の改善方策等についての検討や取組を推進します。

○空調設備整備事業（260,945千円）
快適な学習環境整備として、各小学校の普通教室に空調設備を整備します。工事は6月末に完成し、7月から使用開始しています。

= 新たに指定した南丹市文化財(4件) =

南丹市文化財保護審議会での約1年間の調査審議を経て、本年4月、新たに次の美術工芸品（書籍）1件、天然記念物3件を文化財指定しました。これにより、新たに加わった文化財を含め南丹市指定文化財は全部で87件となりました。



【小出文庫】（美術工芸品/書籍）

園部藩主小出氏の蔵書や藩校で使われていたと伝わる典籍群で、和書318件、漢籍114件を数えます。



【南陽寺のカヤ】（天然記念物）

推定樹齢250～300年生で幹も太く、樹形も整っています。



【摩気神社の口の天狗杉】（天然記念物）

推定樹齢300～350年生で樹高は40mあり、天狗の伝承が地元には伝わります。



【天引八幡神社のムクノキ】（天然記念物）

推定樹齢400年生で幹周りは8mの大樹です。

◇◇園部公民館・八木公民館の耐震不足を踏まえた利用について◇◇

園部公民館及び八木公民館の耐震不足を踏まえた今後の在り方・利用につきまして、昨年12月27日開催の「南丹市総合教育会議」の審議結果を踏まえ、当面、次の通りとしておりますので、引き続きご理解をよろしくお願いいたします。

【園部公民館について】

●研修棟については、現施設を耐震補強することで引き続き活用することを基本とし、これに係る補強工事着手までの間、引き続きご利用いただくこととしています。
●ホール棟については、現在閉館としておりますが、研修棟の補強工事に併せ、耐震補強を図ることとホール機能の両立が図れるかどうか、現在専門的見地からの検証を進めています。

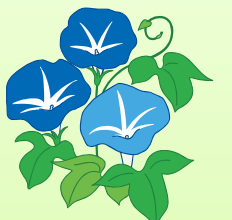
【八木公民館について】

○隣接する「八木支所3階」に公民館機能を移転することとしており、機能移転に係る移転工事等を完了するまでの間は、現八木公民館を引き続き利用いただくこととしています。

※今年度は、園部公民館の大規模改修を含む耐震補強計画の策定を進めます。

今後の主な行事予定

- 8/19(土) 第7回南丹市子どもの主張大会
- 10/14(土) 第7回「南丹市きりり・本のことば」コンクール表彰式
- 10/31(火) 英語教育研究発表会（府教委・市教委共催）
- 11/17(金) 南丹市人権教育講座第3講
- 11/25(土) 第2回なんたん音楽フェスティバル
- 1/7(日) 南丹市成人式
- 1/26(金) 南丹市学力診断テスト（小学5年生）
- 2/17(土) 南丹市スポーツ・文化表彰式



南丹市教育委員会の取組等に関する情報はHP（ホームページ）でもご覧いただけます。
アクセスしてみてください。

[南丹市教育委員会](#)

[検索](#)